

第 7 1 1 回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 技研製作所RED HILL 1967〔株〕技研製作所

…………… 高知県香南市

- ・ 高知生まれの建設技術である「圧入」は、振動や騒音を発生させずに高精度に杭を地中に押し込む建設工法。
- ・ 本施設は、機械や工法、構造物の「実物」を実際に見て体感することができ、言語や文化の壁を越えて、その優位性の理解を促進するために整備された。
- ・ 36,000m²の敷地内に、実証展示場、創造館（世界杭打機ミュージアム）、研究棟等を有する。
- ・ 河川、道路、港湾などのインフラ整備で活用されている圧入工法（圧入機）を、実機を交えて見学する。



2 安芸川橋上部工事（安芸道路）〔四国地整〕

…………… 高知県安芸市

- ・ 安芸道路は、四国8の字ネットワークの一部として整備され、高知県東部地域の広域交流の促進及び地域活性化に大きく寄与する道路である。
- ・ これまでの開通により、整備区間に併設された緊急避難施設等により地域防災機能が向上、また今後の整備により、津波等の影響を受けずに救急・救命活動や救援物資の供給等を行う緊急輸送道路の確保が期待される。
- ・ 安芸川橋上部工事においては、桁端部の長寿命化対策として、伸縮装置の非排水化、橋座面の排水勾配を確保。また、維持管理作業の向上対策として、支承台座高150mmを確保、桁端部の空間（750mm）を確保している。



3 浦戸湾 三重防護対策事業〔四国地整・高知県〕

…………… 高知県高知市

- ・ 高知市は、高知県全体の人口の約47%の人口が集中しており、浦戸湾周辺では、特に行政機関や学校、病院などの公共施設が多数存在している。
- ・ 今後30年以内に70～80%の確率で発生が予測される南海トラフ地震・津波に備え、地域の安全・安心を守るため、湾口防波堤と防潮堤を組み合わせた「三重防護」による対策を行っている。
- ・ 第1ライン（第一線防波堤…津波エネルギーの減衰、高知新港の港湾機能の確保）、第2ライン（津波防波堤・外縁部堤防等…津波の浸入や北上の防止・低減）、第3ライン（内部護岸等…護岸の倒壊や背後地浸水の防止等）の役割を持ち、発生頻度の高い津波は津波による海水の侵入を防ぎ、最大クラスの津波は、避難時間を稼ぐ対策を行っている。

